

サラリーマン脱サラ 起業 ここがポイント

個人事業として起業するべきか、会社で起業するべきかとの質問がありました。今回は個人で起業するメリットのお話です。

かつ目のメリ

ットとしては、個人事業のほうが起業が容易ということです。会社の場合は、会社を設立するのに定款等の作成から登記までさまざまな手続きが必要で時間もお金もかかりますが、個人だとそのような時間

しゅんじ

木村俊治

公認会計士・税理士

があります。また、個人名で契約できても、会社を作った後は会社名義で契約を作りなおす必要がでてくることもありま

もお金もかかりませんが、個人事業であれば会計ソフトでお金の流れを記録さえすれば個人でも対応可能です。最近では「Myクラウド会計」や「フリー」といったクラウド会計があります。さらに保険という費用があります。保険といっても、生命保険ではありませんが、社会保険、厚生年金、そして雇用保険でくくりに社会保険と厚生年金がくせものです。雇用保険は人を雇えば個人です。不幸にして事業から

メリットが多い

個人企業

撤退するときでも、個人の場合は撤退できれば実質事業を終えることができるのですが、会社の場合には事業撤退だけでなく、会社を閉める手続きが必要になります。追加的な費用も発生したりするので、専門家の知識が必要になる場面が多々あります。そう考えると個人起業の場合は、開始と終わりが容易な点がメリットと言えます。

もうひとつのメリットは、運営費用が個人の場合には少なくて済むことです。起業すると必ず税金の問題に気づかれますし、人を雇うと保険というものが関係してきます。事業を始めると利益に応じて税金を納めなければならず、その際に申告書を作成して納付する必要があります。会社の場合は税理士を雇わないと作成するのは難しいの

ですが、個人事業であれば会計ソフトでお金の流れを記録さえすれば個人でも対応可能です。最近では「Myクラウド会計」や「フリー」といったクラウド会計があります。さらに保険という費用があります。保険といっても、生命保険ではありませんが、社会保険、厚生年金、そして雇用保険でくくりに社会保険と厚生年金がくせものです。雇用保険は人を雇えば個人です。不幸にして事業から